

我が社の取組公開します！

「あおもりキャリア教育応援企業表彰」 受賞企業・事業所等の取組紹介

- | No. | 表彰企業・事業所・団体名（市町村） |
|-----|-------------------------------|
| 1 | 青森設備工業株式会社（青森市） |
| 2 | 株式会社南建設（弘前市） |
| 3 | 有限会社算建築設計事務所（黒石市） |
| 4 | 株式会社ムジコ・クリエイト 浪岡モータースクール（青森市） |
| 5 | 株式会社第一ホーム（八戸市） |
| 6 | 津軽鉄道株式会社（五所川原市） |
| 7 | すみれ乳児保育園（弘前市） |
| 8 | 北彩漁業生産組合（むつ市） |
| 9 | 株式会社津軽モータースクール（つがる市） |
| 10 | 株式会社柴田組（むつ市） |
| 11 | 長谷川自然牧場株式会社（鱒ヶ沢町） |
| 12 | 工房まる一（田舎館村） |
| 13 | ハンドクラフトのあっとほーむ（五戸町） |
| 14 | 株式会社館建設コンサルタント（八戸市） |
| 15 | エネルギープロダクト株式会社 三沢技術センター（三沢市） |
| 16 | NPO 法人青森バイオマスエネルギー推進協議会（三沢市） |
| 17 | 株式会社I・M・S（弘前市） |
| 18 | 住友化学株式会社三沢工場（三沢市） |
| 19 | 株式会社ムジコ・クリエイト 弘前モータースクール（弘前市） |
| 20 | 社会福祉法人心輝会 ほなみ保育園（十和田市） |
| 21 | 日本原燃株式会社（青森市） |
| 22 | 東北電力株式会社 青森支店（青森市） |
| 23 | ファニー美容院（青森市） |
| 24 | 株式会社みちのく銀行（青森市） |
| 25 | OH！！鰐 元気隊（大鰐町） |
| 26 | （企）微笑 エステサロン ほほえみ（青森市） |
| 27 | 田重菓子舗（七戸町） |



1 青森設備工業株式会社（青森市）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

- ①当地から若い人口が流出する一方の昨今、少しでも地元に向け活躍してくれる人材が増えてくれればうれしく、活躍できる職場がないわけではないと考えています。たくさんある地元の仕事へ視点を向け、理解をしていただきたく、そのための機会を提供したいと思っています。
- ②私たちの生活に必要な沢山ある職業の尊さを感じてもらい、それらが無くては困るのが社会であり、それを支えてきたご両親や先生方の苦労や愛情の大きさについて身をもって体験、感謝の心を持っていただきたいと思っています。

2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

- ①当初体験学習プログラムを作成した時点で、目的の明確化、その手段方法の確定を行い、弊社なりにできる精一杯のプログラムを作成しました。各研修はこれを元を実施、最大限消化するよう取り組んでいます。
- ②また研修に当たっては部署部門の担当者と取組内容を明確にし、生徒の反応や理解の度合、処理時間などを勘案し、初日終了後の打ち合わせで翌日のプログラムを決め、できるだけ学習できる範囲を広くとれるよう取り組んでいます。



3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

- ①目や耳での見学だけの学習には限界があり、ご両親や大人の人たちが汗し工夫していることを実際に手がけさせ、その大変さについて身を以って感じてもらっています。
- ②実際には手動によるねじ切りや、生徒自身に考えさせて寸法どりさせた配管継ぎ手の接続、配管々内力メウや高圧洗浄機の操作と体験を実施しています。工事看板や名刺、社員証、作業報告書、仮払金申請書など事務作業も体験させ、一人一人が大事であることを学んでもらい、時間が許す場合には CAD 図面作成も手がけさせ工夫の大事さを学ばせています。

2 株式会社南建設（弘前市）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

当社は「地域に奉仕し、地域と共に」、「人と環境しやさしい街づくりを求めて！」を企業理念としており、建設業をを通じて、地域のみなさんと共に歩み、営業活動を続けています。

子どもたちへの健全な育成や職場体験学習もその社会貢献の一環として実施し継続しています。近年は建設業への就職希望が少なく、大工・鉄筋・型枠工等専門技術者や職人が高齢化しています。次世代を担う小・中・高等学校の生徒に建設業のものづくりの魅力を発信しています。

2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

- ・計画：学校側の学習の意図を双方で確認しています。体験学習・職業観の育成・工事現場への認識向上等、建設業を通じ生徒の社会勉強になるよう計画しています。
- ・実行：就業場所での挨拶、説明の中で分からない事は直ぐに質問をさせ、理解を深めさせています。工事の手順、周囲の安全、整理整頓の重要性、職人の実作業に対する心構え、道具や機械の使い方での危

険要素等について対話ができる時間を確保し、緊張感を持って体験を行う姿勢や安全作業の重要性への理解を高めさせるようにしています。

- ・評価：学習終了後に生徒から感想・疑問点があった事を整理し、次回への課題として残しています。
- ・分析：受け入れ現場の抽出、現場の資料、案内説明の理解度を反省し、次回への対策としています。
- ・改善：生徒への安全最優先がきちんと確保されているかを検証して、移動時・現場巡回・解散後の行動への配慮を必ず行っています。

3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

①小・中学生へは工事現場では安全帯や安全チョッキを着用させ、人命の安全第一を肌で感じてもらっています。現場にいる職人や関係者は、お互いに現場のルールは必ず守り、仕事はきちんと最後までやり遂げる事を説明し、仕事を行う心構えを理解してもらっています。



②高校生へは、より実務に近い生コンクリート製造工場で材料試験・強度試験を体験させています。大工工事で重要なプレカット工場の視察において、木材加工・強度・防腐防蟻処理による優れた耐久性、継手部材の高い加工精度による耐震性、工期の短縮によるコストダウン、コンクリート造に重要な鉄筋や型枠の加工や組み立て等々を実体験させ、工事への認識を高めてもらっています。

③全体的に、工事は沢山の工種の人達が設計図書に基づき、各々の知識や経験を生かし、相互の連絡を重視、連携を持って仕上げていき、安全最優先で完成させていく事を理解できるよう進めています。

④建設業者は地域の防災・減災に深く関わっています。随時パトロールをし、地域の危険箇所対策・防災や、台風・地震・大雨等での道路陥没や土砂崩れ・洪水に対しての交通止め等々において、監督官庁の連携のもと、手となり、足となり、災害の拡大を防止し、住民の避難や救助への対策を最先端で活躍している重要な業務を常に行っている事を理解してもらい、防災認識を高めてもらっています。

3 有限会社算建築設計事務所（黒石市）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

「建築士」の仕事を知っていただくことを一番に活動しています。
未来の「建築士」育成のために地域貢献活動としての取り組みです。



2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

職業体験では、模型製作をさせているため、カッターを扱える生徒、建築士になりたい生徒が職業体験するようお願いしています。（最近の学校では、カッター禁止の学校もあります）

3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

出前授業では、設計した建物の写真や図面を見せて、建築士の仕事を説明しています。地域で身近な建物の写真を見せて、こんな建物を設計しているんだ！と興味をもっていただいています。

職業体験では、住宅のデザインや模型製作、CAD 体験、現場見学など実際の業務に触れていただいています。

4 株式会社ムジコ・クリエイト浪岡モータースクール（青森市）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

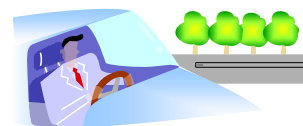
当校は、初心運転者機関及び地域の交通安全センターとしての役割を担っています。「事故のない街にしたい」それが私たちの目指す未来であり、社員は日々仕事に誇りを持って従事しています。

2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

職場体験及び見学など実施の際は、依頼側との事前打ち合わせを行い、質問紙を活用するなど効果が得られるようにしています。又、浪岡地区小学校を対象として安全教室を実施しています。

3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

- 職場体験では次のようなプログラムで実施しています。
- ①教習の進め方として、技能教習の同乗と学科教習の見学
 - ②車両の保守管理として、洗車及び清掃
 - ③コース内清掃など



5 株式会社第一ホーム（八戸市）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

八戸工業大学との産学連携事業は、建築設計教育における実践型教育の展開をはかり、地元の工業系単科大学及びその学生達と設計コンペを開催し、かつ優秀な作品は実際に建築士見学会を開催するなどしています。地元企業ならではの取り組みとして卒業生からも応援していただきながら現在も継続しています。八戸工業大学のコラボレーション事業に関しては、弊社に在籍するOBを担当者として連携事業をしています。

2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

まずは子どもたちが興味を示すことをリサーチし、実践可能かどうかを検討しています。また関係者にも事前に内容の精査をお願いし、了解を得たうえでスタートさせるようにしています。

職場体験は、毎年中高生の受け入れを実施しており、年齢の近い若い社員を教育係にし、仕事だけをさせるのではなく、いろいろとコミュニケーションを図り、会話の重要性を認識させたりしながら仕事を楽しくめよう工夫をしています。



3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

八戸工業大学との産学連携事業として、事前に担当学部長や教授と打ち合わせをしたうえで着手しています。学校側は近い将来、設計コンペの科目についてはゼミ又は単位に編入することを検討したいと言っただけです。過去には鳥取大学での論文発表の際、この事業を紹介されたこともある。先にも記述した通り八戸工業大学とは担当学部長をはじめご理解をいただいております。弊社の販売用不動産に設計コンペから実際の建築施工まで机上の研究だけでなく、実際に現場に出向き職人さんとの接点を通し本当の建築設計の難しさや納まりなどを勉強することができます。

6 津軽鉄道株式会社（五所川原市）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

弊社の業務は、線路整備・車両整備・駅業務・機関士・車掌・アテンダントなど、様々な職種が一つになって、安全運行を支える鉄道業務となっています。それを職場体験及びインターンシップを通じて学んでいただいています。

2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

職場体験及びインターンシップ実施前に担当の先生と実施日までの流れ、また弊社での業務内容について打ち合わせを行っています。実施後は、各生徒の日誌の写し、弊社担当者の評価を記録・保管し、次回の参考としています。

3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

職場体験及びインターンシップの内容は、中学生は社会見学的な内容で、また高校生は、より実践的な(就職活動の参考となるような)ものとしています。普段利用する鉄道を支える裏方の仕事を体験していただいています。



7 すみれ乳児保育園（弘前市）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

当園の取組みが、未来を担う子ども達の教育に少しでも役立つことができればと思っています。また、学校教育のサポートにつながっていけたら非常に嬉しいです。

2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

職場体験や見学の終了後には、参加者と話し合える環境を設定し、感想や質問にもゆっくりと答えられるようにするとともに、次回の受け入れ等の参考にしています。

3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

まずは保育園全体を案内し、園内の雰囲気をよく見てもらうようにしています。

各クラスに入ってから、職員の紹介や園児の紹介をし、楽しい雰囲気の中で生徒の紹介（自己紹介等）をできるようにしています。それから実際に保育の様子を見て感じて、体験できる流れにと考えて実施しています。



8 北彩漁業生産組合（むつ市）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

「獲る漁業」から「育てる漁業」へ、試行錯誤を繰り返しながら研究してできたのが現在の海峡サーモンです。現在にいたるまでに、色々な失敗がありました。育てる過程のみならず、鮮度を保ったままの出荷、年中美味しく食べられるような加工法など改良を重ねてきました。

子どもたちには、養殖漁業に少しでも興味を持ち、理解を深めてもらい、将来の職業について考えるきっかけになるように思って活動しています。

また、これを機会に郷土に対する関心や郷土を思う心をさらに深めて欲しいと考えています。

2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

「確認シート」によってこちらの要望を事前に学校に伝えています。当日は、学校によって対象学年が異なるので、それに応じて講話内容、使う言葉等に配慮しています。また、子どもたちの反応をよく見て、子どもたちから発言があるように心掛けています。



3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

出前授業が海峡サーモンの水揚げ時期であれば、その日に揚がったサーモンを持参して子どもたちに見てもらったり、その場でおろして実際に触ってもらったりしています。また、水揚げが過ぎた時期に依頼されれば、パワーポイントを使用し、写真を多く取り入れるなど飽きないよう工夫をしています。

学校によっては、製造業についての講話を依頼されることもあり、その場合は、切身パック（冷凍）など加工品に重点をおき、通販サイトについての内容を入れてプログラムを構成しています。

9 株式会社津軽モータースクール（つがる市）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

当社の事業の特性上、交通安全に寄与することは当然の義務であり、さらに地域社会に貢献することも使命であると考えます。

2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

事前に先方(学校及び先生方)の要望を聞き、受講する人数や場所を加味しながらある程度のプログラムを組んで実施しています。実施後は、児童、生徒の反応を次回開催する教室に活かすように努めています。



3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

最初の導入部分では緊張をほぐす意味から、講話の内容に関連付けたマジックを披露したり、腹話術で子どもたちの関心を集めるようにしています。その後、本題の交通ルールや罰則などを教えるようにしています。

10 株式会社柴田組（むつ市）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

地域の企業として、子どもたちの教育環境を整えるために、大平小学校、中学校にはグラウンド整備、駐車場整備、市内高校ではボート競技の艇輸送をボランティアで行っています。

また、キャリア教育支援については、子どもたちが自分の力で将来について考えるきっかけや自分の適性を知るための機会を提供するという意識をもって、建設業の魅力を伝えるように心掛けています。

2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

地域の学校の多様な要請に応えるために、所属する下北建設業協会に提案して、協会として受け皿になるような仕組みをつくってきました。今年度のユメココ教室の講師派遣についても一件は当社が受けて、もう一件は他社にお願いするように調整を図っています。

多くの人に役に立つ建設業の良さは、働いている従業員が誇りを持って仕事をしている会社であることを理想としています。建設業（当社）で働く人には、様々な業種があり、それぞれ大事な仕事です。そのことをうまく伝えることができれば良いと思っています。今後、当社の人間に限らず、同業者が建設業の良さを小学生、中学生に上手く伝えることができるようなマニュアルを作ることを考えています。その後も、経験を積んで改定していきます。

3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

工事現場をそのまま見せることはなかなかかなわないので、代わる写真が必要で、リアリティがある写真を使用することを心がけています。また、持ち運びできる測量機械、道具など興味を持ちそうな物を持参して、仕事内容を体験できるように工夫しています。

屋外で行うイベントでは重機等を搬入して、なかなか機会のない操縦の体験等できるように配慮しています。



11 長谷川自然牧場株式会社（鯉ヶ沢町）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

生命産業である畜産、その命をいただいているという食への思い、ありがたさを実感する。日本一の豚肉を作っているという社員のプライドを持ち、やりがいを持って働いていることを伝えています。作る・食べるから始まる自立への一歩を自覚する場所にしています。

2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

その日の計画、どの場所で何人をだれが受け持つか、やれる事を見つけて与えています。楽しくなくてはならないということが基本ですが、一番にやりたいことをさせ、やってみたいことを手助けしています。最後には達成感を味わわせることが目標です。



3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

何で自然牧場というクイズ方式で種類を探しながらの作業をさせています。時間に余裕を持ち、仕事を楽しむよう指導しています。

仕事前の身支度は「始まり」を意味するため、服装にも心がけさせています。退屈、あきさせない工夫は常にしています。

12 工房まる一（田舎館村）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

津軽塗は青森県の伝統工芸のひとつとして、県内の家庭の中では毎日使われているものなので、どのようにして作られているかを知ってもらうことで愛着心を持って大事に使ってもらいたいと考えて取り組んでいます。

2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

津軽塗体験の前にサンプルを持参しながら担当者にデモンストレーションを行い、時間の流れと工程に関する不安をなくするようにしています。

また、体験後速やかに、当日の様子を記録として報告ができるようDVDにして資料を届けています。



3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

体験で製作するものはオブジェではなく、作った後で持ち帰って使ってもらえるようなもの（箸・スプーン）としています。また、子どもたちがそれぞれに好きな色と大きさを選んで製作できるように工夫しています。

13 ハンドクラフトのあっとほーむ（五戸町）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

人の「手」によるものづくりの素晴らしさ、あたたかさを伝えることを目的に、つどう・つくる・つながるをモットーとするコミュニケーションツールともなりうるものづくり、そして科学へ通じる生活の中のものづくりを子どもたちに感じてもらいたいと考えて活動しています。

2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

教育支援プラットフォーム事務局（三沢航空科学館：上北地区）コーディネーターとの打合せを行いプログラムを決定しています。弊社内での打合せ、プログラムの点検をしています（年1回見直し）。



3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

実際に使っている物・材料、作った物等を持参し、目の前で見て触れる機会を提供しています。また、児童に体験してもらう時間を必ず入れています。

パワーポイント等は使用せず、直接児童のそばに寄り添いながらの授業進行に努めています。

震災被災地支援で当団体が実際に行ったミサンガづくりやキャンドルづくりを例に、実物や本物を触りながら授業を進行しています。

食育に関する出前授業では、2種類のだし汁を実際に試飲してもらい、風味の違いについて説明しながら普段の食事の味付けに興味を持たせ、味覚の大切さを実感してもらっています。

14 株式会社館建設コンサルタント（八戸市）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

当社の社是「地域社会の要請に応え、地域の歴史・文化を礎とした総合的な建設コンサルタントとして、知的サービスを提供することにより社会の発展に貢献する」をモットーに働いていることを少しでも感じてもらい、将来の職業選択時のイメージを持ってもらえたらと考えています。社内体制は教育担当社員を1名配置して対応しており、生徒のサポートを通じて、担当社員の育成にも効果があると考えています。



2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

中学生の受け入れでは、受け入れ初日に当社の事業内容、過去の業務成果品内容等を示して、建設コンサルタントがインフラ整備において重要な役割を担っていることを説明しています。

活動中は、毎日日誌を記入してもらい、当日の感想、反省点等の整理をしてもらっています。

終了後は、学校において各自が職場体験で得たことなどを振り返ってもらい、その内容は当社でも確認しています。それらの内容により、次年度の改善を図りながら対応しているところです。

3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

書籍や資料で説明するほか、実際の図面、現場写真等により、建設コンサルタント業の内容を理解してもらっています。また、昨年度根城中学校の生徒を受け入れた際、ドローンを導入した時期と重なったため、実機の構造を確認してもらい、空撮業務やドローンによる測量作業が可能であることを理解してもらいました。

15 エネルギープロダクト株式会社三沢技術センター（三沢市）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

当社の事業が太陽光発電或いは小型風力発電に深く関わるものであり、環境保全への積極的な貢献はもちろんのこと、施設立地地域との共存・共栄を図る観点から、小・中・高生や一般市民の皆様を対象に、自然エネルギーに係る学校教育や地域の皆様の啓発活動を CSR の重要課題の一つとして取り組んでいます。とりわけ、当社に関わりの深い青森県から、2015年に青森県教育支援プラットフォーム登録の指定を受けて、当社三沢技術センター内に、ビジターセンターの整備を薦めるとともに、太陽光発電アドバイザーが中心となって教育・啓発資料等の整備を進めてきています。

2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

高校生の職場体験に当たっては、事前に三沢市のサポート部署と連携し、高校の担当教諭とプログラムや目標を摺り合わせして、参加生徒のニーズにマッチする様万全の準備をしています。

また、それを踏まえた校内研究発表会には当社責任者が参加し、生徒の理解度、課題等を調査し、次回に反映させる様に務めています。



3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

太陽光発電アドバイザーを責任者として、専門的な資料を作成し、参加者の理解度を探りながら自然エネルギーに係るレクチャーをすると共に、当社の施設を実際に見学してもらい、例えば高校生の場合は当社の受け入れ校のOB社員が案内を担当し、親しみを持てる環境を作っています。同時に、このことが当社社員の人間教育にも重要な役割を果たしています。

16 NPO 法人青森バイオマスエネルギー推進協議会（三沢市）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

山林整備活動及び木質ペレット燃料の普及活動を通じて、青森の資源とエネルギーが持続可能な形で循環する社会の構築を目指しています。

その啓蒙活動の一環として、地域の子どもたちに環境とエネルギー、特に木質バイオマスについて話す場として積極的に活用しています。



2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

講演終了後の質問コーナーで出された質問は、次回以降の内容や話し方を改善する参考としています。

3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

チェーンソーウェアを着込み、杉の木の輪切りや間伐作業の動画などを見てもらうことによって、実際の現場の様子をイメージしやすくしています。

簡単なクイズを通じて、自分の頭で考えてもらいながら、記憶に残るようにしています。

17 株式会社 I・M・S（弘前市）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

当社は幅広い年齢層へのキャリア形成支援に関わる事業を営んでいます。その中で、自身の人生について目標を持つことの重要性や、どのような大人と関わるかによって、子どもたちの人格形成に大きく影響する場面を目の当たりにしています。

社員を「キャリアコンサルタント」として育成しながら、そこで得た知識を一人でも多くの子どもたちに伝え、より良い人生を歩んでいただきたいという思いから取り組みを行っています。

2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

事前の打ち合わせに関しては、担当の先生から生徒の様子を教えてください、興味のある話題や事柄を取り入れるように工夫をしています。その際に、先生からの要望も取り入れて、先生へも一緒にご参加いただくよう伝えています。

また、職場体験や見学の際は、明るくお迎えをすることで、生徒の緊張を和らげるようにしています。

事後の振り返りは、担当した者からのヒアリングをもとに、次回にはさらに良い機会となるように取り組んでいます。



3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

時間配分を工夫しながら、生徒が飽きないように、集中できるゲーム等を使いキャリアについて考えてもらっています。

さらに、後半の時間ではグループワークを実践し、生徒同士の良好なコミュニケーションが取れるように配慮をしています。

18 住友化学株式会社三沢工場（三沢市）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

工場が操業開始して38年目ですが、素材メーカーということもあり、地元住民の認知度が低い。県内に数少ない化学工場として、化学への理解を深めてもらうことにより、当工場の生産活動についても理解を深めていただくことを目的としています。

また、「子ども職場参観日」については、従業員子弟のキャリア教育であるとともに、従業員のモチベーションUPも狙いとして実施しています。

社内の体制としては対外折衝の窓口である総務部が主として行い、場合により他部署より応援を受けています。

2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

【事前打ち合わせ】

- 対象者に合わせた講話や実験内容を検討し、プログラムを決めています。
- 化学工場へ来ていただくということもあり、なるべく製造現場に近い従業員を選り、講話してもらっています。

【事後の振り返り】

- 講話や実験作業中の様子を振り返り、対象者に合った内容だったか点検しています。（危険な行動はなかったか、作業のしやすさはどうか、など）



3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

- マジックなどを使用して対象者の興味を引いています。
- クイズや質問を生徒に投げかけ、考える時間をつくっています。
- 急激な熱の変化やpHの異なるものなど、危険な薬品を使用しないようにしています。
- 保護具を着用させ、災害防止に努めています。
- 身近に手に入る（100円ショップなど）物品を使用しています。

19 株式会社ムジコ・クリエイティブ弘前モータースクール（弘前市）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

職業体験や施設見学を通じて指定自動車教習所としての役割を理解していただくと共に、地域に対する当社の取り組み等もお伝えするようにしています。

また、教育支援担当は業務を統括するR&D（レポート&ディライト）推進室が担当し、関連する各部門への講習依頼や周知を図っています。

2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

事前の学校側との打ち合わせ内容を基に、教育支援担当がその都度目的にあったカリキュラム（スケジュール）を作成しています。

その他、朝礼等で全社員へ告知する事で打ち解けやすい雰囲気づくりに努めています。



3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

決められた時間のすべてにおいて職場体験を行うのではなく、当校の安全運転教育で培った指導ノウハウを活かして参加した方の将来に役立つような講習等（自転車の安全運転講習、ビジネスマナー講座等）もカリキュラムに含めて実施しています。

20 社会福祉法人心輝会 ほなみ保育園 （十和田市）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

保育所としての地域への貢献と、次世代の人材育成の手助け及び、子ども達の命を守りその未来を、さらに輝かせるための基礎を培う事を目的としています。

また、それらの活動を通して、園内の職員の意識及び技術の向上を図っています。

2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

- 1、事前の打ち合わせや事後の振り返りなどは、指導に関わった職員の忌憚のない意見を聞かせたり、生徒の質問に答える等、仕事の楽しさと厳しさを理解してもらえるようにしています。
- 2、研修・実習・職場体験などに来る生徒の多くが、小さい子どもと関わる機会が少なくなっているため、日頃私たちが仕事で気をつけている事について、その理由をしっかりと伝えています。



3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

できるだけ、職場体験などを実施する側の意向に沿うように話し合いをしています。また、生徒が全ての年齢の子ども達と触れ合う事ができるように、とだけ話し、クラス分担などは生徒たちに決めさせています。決まるまでの様子を聞いていると、結構生徒たちのしっかりした考え方が伝わってきて、頼もしく思えます。

21 日本原燃株式会社 （青森市）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

弊社は、「地域社会とともに発展する」を経営方針の柱のひとつとし、「地域の皆さまの信頼があってはじめて、私たちの事業は成り立ち、地域の発展があって当社の成長がある」と認識のうえ、地域の皆さまと十分なコミュニケーションを図りながら、業務に取り組んでいます。

その一環として、次世代層に対するエネルギーや放射線に対する理解促進を図るため、学校教育の現場に専門家の派遣と機材の貸し出しを実施し、理科等の授業の支援を行っています。

2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

事前に学校に伺い、日程、生徒数、出前授業の内容を調整・確認しています。

授業の数週間前に事前アンケートを行い、子どもたちの知識レベルを確認し、授業内容を工夫しています。さらに授業後にもアンケートを行い、子どもたちの習得度を確認し、データを図表化して学校の先生と情報を共有するとともに、次回の出前授業に活かしています。



3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

本来、目には見えない放射線を見るために、飛行機雲の原理を応用した「霧箱観察」を行っています。

また、放射線が身近にあることを理解してもらうために、「簡易放射線測定器」を用いた実験を行っています。

さらに、放射線が私達の生活の中で、さまざまな場面で活用されている一例を示すため、放射線照射により強度があがったプラスチックと、照射していないプラスチックを熱湯に入れた後に引っ張る比較実験を行うなど、一目で理解できるようなプログラムを用意しています。

22 東北電力株式会社 青森支店 （青森市）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

当社は、地域の未来を担う子どもたちの成長を応援する次世代支援プロジェクト「放課後ひろば」に取り組んでいます。その活動の一環として、地域の子どもたちに環境やエネルギー問題の現状、発電の仕組みなどについて関心を高めていただくため、社員が小中学校や地域学習施設などに出向き、講師を務める「エネルギー出前講座」を実施しています。暮らしの中での電気の役割をはじめ、家庭に電気が届くまでの道のりや発電の仕組み、エネルギーと地球環境との関わり、再生可能エネルギーなどについて、スライドや発電所の模型、工夫を凝らして作成した実験道具などを用いて、子どもたちに分かりやすく説明しています。

2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

- カリキュラムの作成にあたっては、事前に学校の要望（電気の学習か、職業観の育成か）を聞き反映させています。
- 当日の感触や児童からいただいた感想を踏まえ、随時、実験機材や説明スライドの修正を行っています。
- 青森県エネルギー総合対策局主催の「でんきの出前教室」へ協力することにより、当社のエネルギー出前講座の充実に向けたノウハウの蓄積を行っています。
- 参加者アンケートを行い、次回以降の活動内容の充実に役立てています。
- 生徒からのお礼の手紙の他、壁新聞や校内発表会に向けてまとめられた内容について、実施者として責任をもって確認しています（伝えなかったことが伝わっているか、生徒の目にどう映ったか、印象に残った場面や言葉は何か 等）。



3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

- 座学だけではなく、体験型のカリキュラムを多く採用しています。
- 児童からの質問に対しては、過去の体験を基に分かりやすく回答するよう努めています。
- 体験学習では、児童の興味を引き、記憶に残るようなカリキュラム（電気自動車の乗車体験、発電自転車による発電実験、手回し発電機による発光実験等）を取り入れています。
- 「電気」を消費するだけでなく、児童自らが「つくる（発電する）」実験を取り入れ、無味無臭で触ることもできない「電気」の存在を知覚してもらえるような工夫をしています。
- 児童同士が力を合わせて行う実験を取り入れ、発電に必要な仕事量の大きさを認知してもらうと同時に、児童同士のコミュニケーションが促進されるような工夫をしています。
- 座学ではクイズや問いかけを多用し、児童の興味・関心を最大限引き出しながら理解度向上を図るような工夫をしています。
- 発電所から消費者までの道のり（電気が家庭に届くまで）について理解を深めてもらうため、実際に使用している電線（配電線、送電線）や碍子（がいし/陶器でできた絶縁体）を用意し、見て触れてもらっています。
- 参加する児童の人数に応じて、必要があれば対応者を増員し、補足説明の充実や実験の安全確保を図っています。
- 専門用語は極力避け、内容が難しい部分はたとえ話をを用いる等、理解しやすい説明となるよう努めています。
- 身近な話として捉えてもらえるように、学校や周辺地域の情報を取り入れる等、話に具体性を持たせています。

23 ファニー美容院（青森市）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

美容師という職業の目に見える部分以外、様々な苦勞や楽しい部分も伝え、同時に日々の仕事の見直しをしています。将来の夢を持っていない子どもたちに、一つの選択肢として美容師という職業を提案することを目的として活動しています。

2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

中学生に対しては、仕事の楽しさを味わえるような体験を中心に実施しています。高校生に対しては、実務で避けることができない苦しい作業を中心に体験活動をしてもらっています。事前の打ち合わせで、どのような実習をしたいかを確認し、終了後の感想などに目を通して次の改善案として考慮しています。



3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

仕事で使う道具を一式持参して見せると同時に、普段できない事を中心に体験してもらうようにしています。最初に美容師になるまでの道程をいくつか説明し、自分の体験を交えて、仕事の成功談・失敗談について、興味を持ってもらえるように話しています。

24 株式会社みちのく銀行（青森市）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

企業理念である「みちのく銀行は地域の一員として存在感のある金融サービス業を目指し、お客さまと地域社会の幸福と発展のために尽くします」のもと、地域社会のパートナーとして金融経済教育を通じた社会貢献に取り組むことを目的としています。

経営企画部広報室や人事部を中心にキッズスクールやエコノミクス甲子園等を実施。また、各地域の営業店においても職場見学を受け入れています。



2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

職場見学依頼先との事前打ち合わせや、行員間の役割分担等の打ち合わせをし、細部にまで気が付く運営となるよう心掛けています。

また、実施後には参加者からアンケートをとり集計しています。集計結果も参考に常にしながら反省と検討を繰り返し、次の運営に役立てています。

3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

- 参加者が飽きないように、話を聞く時間と実際に体験してもらう時間を交互に入れるなどカリキュラムの工夫をしています。
- 専門用語を使わず、分かりやすい説明となるよう心掛けています。
- 保護者も参加するイベントの場合は、保護者からの目線も意識した運営を心がけています。

25 OH!! 鰐 元気隊 (大鰐町)

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

リゾート開発失敗による、財政難に苦しむ我が町では、長い間、地域住民が子ども達に対し、町のネガティブな面を発信し続けたため、ふるさとに希望と誇りを持ってなくなっていた。そこで「OH!!鰐 元気隊」では、ふるさと教育の手法を用い、小中学生やその親達の意識改革を施し、気づきを与え、町の将来を支える担い手づくりをすることを目的として活動をしています。

2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

毎年、春には「元気隊キッズ野菜」の植え付けを行い、また「農業」についての課外授業も開催しています。

さらに、毎月一回、町内の観光名所やイベント会場等の清掃ボランティアを、大人の元気隊員と共に実施し、その際のルールとして「キッズ隊員との会話は、全て町のポジティブな発信とする」としています。



3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

出前授業では、「農業とは!」「ビジネスとは!」「おもてなしとは!」の3つをテーマに、東京での販売体験と交流パーティーに備えています。職場体験（東京での販売体験）では、ワニカム流の朝礼、名刺交換の仕方、接客マナー、販促用語等を学び、3つのテーマについて実践訓練しています。また、パーティーでは、予め著名人の方々に良い意味での根回しをし「子ども達」に夢と希望を与えるメッセージ（会話）のみで、交流してほしい!とお願いしています。

26 (企) 微笑 エステサロン ほほえみ (青森市)

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

エステやネイルの資格のとり方、学校の選び方を子どもたちにわかって欲しいと考えて取り組んでいます。スタッフは全員有資格者となっています。

2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

事前に、受け入れる子どもたちの名前等を覚え、子どもたちに安心感をもってもらいたいと考え、子どもたちの経歴書を出してもらうよう学校にお願いしています。

また、サロンが入居しているアウガの事務所に、最初にあいさつに行くことを実施しています。



3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

出前授業では、講話だけでは、生徒の集中力が長続きしないため、洗顔法・マッサージ等、実技を入れて実施しています。

職場体験では、実際にチラシ配りを行わせ、集客の苦労について身をもって体験させています。また、お客さんから料金をいただいてマッサージをさせることで、責任を持って仕事に取り組むよう工夫しています。

27 田重菓子舗（七戸町）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

「教育」という分野に地方の一職人、一店舗が関わらせていただくことに対し、責任と言葉、行動の重みを感じています。職業は理想で語られることは無く、また虚像でもなく常に「リアリティ」の中で繰り返す一つの社会の風景と考えています。一方、子どもたちは、学校生活という現実の時の動きの中で、何かを感じ取りながら日々送っていると思います。それは私達「大人」も同じであると感じています。その、立場も年齢も異なる中の最大公約数の交わりがどこにあるのか、言葉にして共有することにより、地域と子どもが「育ちあい」を育むと信じています。大企業、中小規模企業、個人店、それぞれ、共通項は人間がそこに学び進むことであり、教え合うことで、子どものみならず、我々職業人も未来を作る義務があると信じ、この活動をしているのが私の目的です。

2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

当初この活動をするにあたり、大変悩みました。特に私のような個人店で、モノづくりの世界の人間が言葉にするのは難しいものでした。計画におきましては、まずご仲介いただいた方に、依頼していただいた学校側で、どのような主旨を望んでいらっしゃるかを理解し、その上で、自由に伝えられる部分はどこであるかを確認いたしました。100に近い自由度を与えていただいておりますが、依頼文を咀嚼してからの作業です。そして実際にご依頼くださった学校の担当者さまと、なるべく「こんな話をしたいと思っている」の確認を事前に行っています。私は、学校という現場をよく知り得ておりませんので、とても重要なことと考えています。そして学校と私の間に共通言語ができるように心がけ、なるべくではございますが、お互いに協力し合える関係性を築けるようにしてお邪魔しています。講話が終わりました際には、ご見学くださった先生の皆さんに、率直なご意見を伺っています。また、生徒のみなさんから感想文を頂戴した折には、みなさんが、話を聞いたうえで、どんなことを不安に思っていたのか、なにを感じ取ったのか、咀嚼できたのか、明日への力が少しで得られたのかを気を付けながら読ませていただいて、反省を含め、次の学びに繋がられるように心掛けています。



3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

ご依頼いただいた生徒の学年、勉強の過程を考慮しています。私は主に菓子の歴史について最初にお話しさせていただいています。まだ学んでいない時代であれば、その箇所を丁寧に説明するようにしています。歴史は、菓子に限らず、暮らしている土地の風土を感じ、愛着と尊敬を感じる為に、取っ掛かりとして大事なものだからです。そして、そこから自分の今の職業に至るまでの経緯を、その年齢ごとに分かりやすい言葉で話すか考えて話します。また言葉のみならず、視覚などの五感で感じていただけるように、菓子の道具（主に木型）や、菓子サンプル、イラスト、写真を用いています。一通りお話しして、質疑応答ではなく、途中で会話をしながら、その瞬間瞬間、子どもたちが湧いた疑問を解消できるように（長引かない程度に）やり取りをすることを心掛けています。ただ、子どもたちの様子を見ながら、話す内容を濃いものにしたりと間口を自由自在にできるように気を付けています。当店では、食品を扱うところであり、基本的に職場体験をしておりません。ですので、出前授業でどれだけの菓子業の面白さ、社会に出ることの面白さ、大人の面白さを伝えるようにしています。